平成29年度 第1回倉敷市地域公共交通会議 議事録

1. 会議名

平成29年度 第1回倉敷市地域公共交通会議

2. 開催日時

平成29年6月28日(水) 14時15分～15時20分

3. 開催場所

倉敷市役所本庁2階 207会議室

4. 出席者

(1) 委員(22名)

谷口守委員、大野基和委員、守安渉委員、山下成久委員、丹下恒夫委員、羽原富夫委員、石井繁次委員、谷口雄一郎委員、生藤茂徳委員、(代)内田晃裕委員、小坂進委員、藤井利佳委員、織田清嗣委員、難波仁委員、楠本雅之委員、渡邊寛人委員、(代)渡辺孝委員、久本忠彦委員、川井一志委員、小坂基宏委員、平井啓之委員、原孝吏委員

(2) その他

関係者(4名)、オブザーバー(3名)、事務局(7名)

5. 議事

- ア 平成30年度地域内フィーダー系統確保維持計画について
- イ 倉敷市地域公共交通網形成計画に伴う事業について
- ウ 平成28年度決算について

6. 議事次第

- (1) 開会
- (2) 委員紹介
- (3) 会長挨拶
- (4) 議事
- (5) 閉会

7. 配布資料

次第, 委員名簿, 配席図

資料1 平成29年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)

資料2 倉敷市地域公共交通網形成計画(事業計画)

8. 議事内容

(1) 開会（事務局）

本会議は、委員総数25名、代理出席及び臨時委員を含め出席者22名で、委員の半数以上の方にご出席いただいておりますので、倉敷市地域公共交通会議設置要綱第8条第2項の規程により会議は成立しています。

また、倉敷市地域公共交通会議の公開要領に基づき、本会議は公開で行われますことを報告いたします。

(2) 委員紹介（事務局）

委員、関係者、事務局の紹介

(3) 会長挨拶

会長より挨拶

議長より挨拶

(4) 議事における発言内容

ア 平成30年度地域内フィーダー系統確保維持計画について
事務局から説明（資料1）

議長 : 質問、意見があればお願いします。
サービス水準は変わってないのか。

事務局 : はい。

議長 : 1ページの資料を見ると、幸いなことに平成26年度からはお客様は増えているが、なぜ増えたのか？

事務局 : 認知度も高まって、必要とする方が増えてきたのかなというのが、担当者としての認識である。

議長 : わかりました。ちょうど真備地区コミュニティタクシー運営委員会の会長がご出席されているので、一言お願いしたい。

関係者 : コミュニティタクシーの運営に関しては皆さんに大変お世話になっております。この場をお借りしてお礼申し上げます。先程の件であるが、真備地区は非常に高齢化率が上がっており、倉敷市の平均以上に上がる傾向になっている。特に水島の後背地ということで団地がたくさん出来た。その方々が、ちょうど団塊の世代を迎えた。もう一つは、町から外れた所の過疎地は、高齢者ばかりというような地域になっている。特に高齢者の交通事故が最近、新聞紙上等で言われるようになり、認知症の方もほぼ5人に1人になるということで、これからはこのコミュニティタクシーを利用する人が増えてくる

のではないかと期待している。もう一つは、真備町内の川辺地区という所に、総合病院とか、内科とか、歯科とかそういった病院が新設されている。もう一つは、スーパーが同じ所に4つあるので、利用する人はこれからますます増えてくるのではと期待している。

議長 : バックグラウンドを説明していただき、ありがとうございます。

ニーズを持つ方が増えているということですね。

質問、意見があればお願いします。

特にご意見なければ、このリーダー系統確保維持計画について表決をとりたい。

[採決]

賛成の委員の方は、挙手願います。

全員賛成により、承認することにします。

イ 倉敷市地域公共交通網作成計画に伴う事業について 事務局から説明（資料2）

議長 : 事業計画と数値目標、相違関連するものもあるが、2本合わせてお答えいただきたい。事業計画の方であるが、平成28年度の実績から始まって事業費が書かれているものがある。これは主に市でやっているものの事業費ですね。そして平成33年までの事業計画になっている。

今頂いた情報だけで議論はなかなか難しいと思っている。というのは、実際にどうなっているかというのは、行政の所は予算が入っており、どんなスケジュールでやっているかということがわかるのだが、実施主体のところを見ると、事業者さんの所に、今日出席頂いている事業者さんそれぞれのお名前も入っているのがあったりするので、事前に予告しておらず申し訳ないが、出席の事業者さんから一言ずつ、それぞれの担当になっている事業計画の中で、皆さんに聞いてもらいたいようなことがあったら参考に言ってもらった方が議論しやすいかと思う。順番に補足を頂きたい。

水島臨海鉄道の方から願います。

委員 : 「倉敷市鉄道軌道安全輸送設備整備事業等補助金」を、本年度頂いており、車両と案内放送のために使っており、国と市から補助を頂いている。それから、9ページ「愛される鉄道」への取り組みということで、季節に合わせた特別列車をやっている。まず「倉敷難めぐり」に合わせて、2月25日から3月12日まで難列車を運行している。難列車は6回目の運行である。6月20日から7月9日の間は、七夕列車で短冊を付けた列車を運行している。私も、今朝10時55分発のこの列車に乗って来た。10月はハロウィン列車の運行をしている。

10月14日の「鉄道の日」に合わせて、10月16日ですが、鉄道の日イベントをしている。12月にはクリスマス列車を、11月21日から12

月25日まで運行している。

次に、7ページの「ピーポー車窓ガイド」ということで、水島支所の産業課が音声の車窓ガイドを作っている。それから「りんてつ沿線手帳」を倉敷商工会議所青年部の方と産学連携で、ガイドブックを作っている。このガイドブックを見ながら、一番前で音声ガイドを聞きながら乗っている方もおられる。

議長 : 具体的な情報ありがとうございました。

次に両備ホールディングスの方をお願いします。

委員 : 倉敷市内では、霞橋営業所が路線バスを運行しており、そこから水島を經由して倉敷駅方面に運行しているが、ご他聞にもれず運転者不足があり、限られた日にちの中で必要な時間帯の運行を心掛けている。合わせて数少ないドライバーの中でも女性の比率を高めており、今現在も、霞橋営業所には5名の女性が配属されている。中々、解り難いと言う意見や、全員ではないが、運転手の中には不愛想と言う意見もあるので、ソフトなイメージを打ち出して、少しでも乗りやすくしていきたい。車内の運賃表なども直したので、そういったものと合わせて、少しずつではあるが、親しみを持っていただけるようにしている。この中で乗り継ぎについても、わかりやすい時刻表を作成、便数は少ないながらも、どこからどういって、どういう経路で、どこへ行けるのか解りづらいといった声も頂戴しているので、そういった所も調整していきたいと思っている。非常に簡単ですが以上です。

議長 : ありがとうございました。今言っていたことは非常に大事なんですけど、この項目に入っているかというところとどうかと思うが、恐らく計画を作る時は、項目を挙げてとやったんですが、議論すると、もっと色々な方法があるよという話なのかもしれない。どれだけ一度決めたものを柔軟に変えていいのかわからないが、一応決めたと、やってみると結構難しいという事もあるのではないだろうか。そういう時には、むしろ素直に言ってもらって、市全体と市民も含めてどんなことが協力出来るかということ意見を交換出来ればと思う。

事務局 : ご意見ありがとうございます。今おっしゃられた事業者間の乗継の連携の仕方というのは、お客様の声を聴いて事業者さんにお答え出来るのは行政の仕事かなと思います。先程おっしゃって頂いたことは、11ページの「Q-(2)情報案内板や経路案内の改善・整備」に相当するかなと思います。1ページの29年度の新規の「A-(2)事業者間における接続ダイヤの検討」に当たるかなと思います。見せ方と実務と、おっしゃられたことについてピタリかどうかはわかりませんが、そういうところで反映していきたいと思っています。

議長 : 次に下津井電鉄の方をお願いします。

委員 : 「A-(1)利便性の高い運行時間帯・運行回数の確保」のところは、弊社は、倉敷児島間、倉敷茶屋町間を運行している。大きくサービスの提供に関わる所では、バスロケーションシステムを昨年度より開始している。これは、岡

山市の宇野バスさんからご協力をいただき、バス車内にタブレット端末を設置して、位置情報を管理PCのサーバーでデータを蓄積してバスロケーションシステムを構築している。こちらに付随して、毎日の運行の実績から、遅れ時分であるとか、曜日による遅延運行などを解析して、より運行の実態にあったダイヤ作成に取り組もうと思っている。次に「F - (1) 利便性の高い運行時間帯、運行回数の確保」は、補助金の関係の項目になっているのだが、こちらも28年度の実績から言って、29年度も大きく超えてないが、新しい系統などを従来の系統から効率よく作れたらいいのであるが、引き続き倉敷市に補助金をいただきながら路線維持に努めてまいりたいと思います。また、弊社の方でも同じく運転手不足というのがかなり大きな問題でありまして、昨年度、力を入れたのが、会社の説明会であるとか、児島営業所を昨年建て替え、こちらのほうで休憩施設等に女性のドライバーも受入れるよう改善し、どんどん募集し、入って頂けるように努力したいと思っています。「J - (1) バス車両のバリアフリー化」についてであるが、従来は国の車両購入補助を活用して新車を入れて行くようにしていたが、補助の要綱が変わってから新車の導入が滞っており、今では、他社の中古車両を代替のタイミングで取り入れし、何とかしている状況である。弊社としては一番大きな問題であるため、今後の方針については、倉敷市と話をさせてもらって、決めたいと思っている。弊社だけではないが、「Q - (2) 情報案内板や経路案内の改善・整備」についてであるが、2020年に向けて、行先別系統表示(ナンバリング)を、弊社も多く倉敷市内で運行させていただいておりますが、岡山市内も運行しているので、自治体と運行事業者一緒になって話をしていきたいと考えています。以上です。

議長 : ありがとうございます。

次に井笠バスカンパニーの方お願いします。

委員 : 弊社は小さい会社なので、例えばバスの時間のあり方であるとか、運行がどれぐらいかかるかというような個々に進められるものについては進めている。大きな資本投資がかかるようなものとか、今後必要になるであろうICカード化については、やはり行政の方のご支援とか頂かないと、事業者単独で進んでいくと言うのは現状難しい状況にあるという認識である。以上です。

議長 : そうはおっしゃいますが、まあ出来ることを一緒に考えるということによりしくお願いします。

次にJR西日本の方お願いします。

委員 : 「A - (1) 利便性の高い運行時間帯、運行回数の確保」の「市内のすべての路線」とあるが、これは切ることは出来ないの、山陽本線・伯備線・宇野線とかこのあたりを中心に利便性を確保していき、利用実態に応じて便数等も考えていくのかなと思っている。次に「B - (1) 広域交通拠点の整備・改善」の中の「自由通路の美装化」というのがあるが、こちらも引き続きやってくる。なぜこんなことやっているかというと、弊社は、6月17日より

「トワイライト瑞風」を運行しており、倉敷駅にも6月24日に来た。このお客様は三十数名しか乗られないが、結構高額の方が乗られ、色々な所にPRして頂けるのかなと思っている。倉敷駅には毎月第二と第四の土曜日に入ってくるので、こういうお客様が全国でPRしていただけるということになれば、色々な交通手段で倉敷駅・美観地区等に訪れていただけるのかなと思っている。そういうことによって、倉敷地域が活性化するのではないかなと思っている。そういうのを含めて引き続き「自由通路の美装化」に取り組んでいく所存である。以上です。

議長 : ありがとうございます。大体のイメージも出きったかと思うので、ここで事業計画全体に対して、質問・ご意見・ご要望等いただければと思う。

議長 : ないようなので、私の方からひとつ質問する。

「Q - (1)」の倉敷おもてなし公共交通マップ。こちら作成頂きありがとうございました。配布継続となっていて、今年度に「市内高校大学への訪問配布」とありますが、進捗はしているのか？

事務局 : ご質問ありがとうございます。ゴールデンウィークが終わったぐらいに、市内にある公立高校・私立高校・大学・短大すべての学校に、この公共交通マップをたくさんは持って行ってないが、各10部ずつ、交通政策課の課員と両備ホールディングスさんの協力を得て一緒に配布した。その時、バス事業者からも時刻表やバスロケーションシステムの使い方等のチラシも頂いていたので、そういった物も一緒に持って、各学校へ訪問した。全部で27校です。

議長 : 使われているのでしょうか？持って行っただけでは脇に置かれてしまうので、これはモビリティマネジメントで変わると思うのだが、高校生の方々と直接お話し出来る機会があったほうがいいんですけど、ぜひコミュニケーションを通じて公共交通利用して頂けるような取り組みを増やして頂ければと思います。

事務局 : ありがとうございます。前向きに検討します。

議長 : 他に何か質問、意見はありますか。

委員 : 「K - (1) 鉄道・バス教室の開催」についてですが、こちらに「改善検討」という言葉が使われていますが、具体的に「改善検討」とはどういうことでしょうか。

事務局 : こちらは「鉄道・バス教室」と書いてあるので、鉄道でもやりたいというのがこの趣旨になる。市内でワンマン運行されている鉄道事業者もあるので、乗り方がわからない・どっちから乗ったらいいかわからないという声も聴く。これはまだ鉄道事業者さんと話をしたわけではなく、本物の鉄道列車を使うのも難しいとは思っているので、どういったことが出来るのか2年間かけて話をしていきたいと思っている。

議長 : 改善と言うとイメージがわからない。鉄道と言うと対象が限られてくるとは思うが、例えば水島臨海鉄道さん可能性はあるだろうか？

委員： 実際には、沿線の小学校の方達に利用されており、実践でやられているが、例えば、水島駅前の愛あいサロンに集ってもらい、色々な話をしてから乗って頂くというようなことも考えていきたいと思っている。

議長： 是非、前向きに検討いただければと思います。

事務局： 心強いご意見頂きましたので、前向きに検討していきたいと思います。

議長： 他に何か質問、意見はありますか。

議長： とりあえず、事業計画の内容はこのあたりにしていただいて、最後の2ページにあります「評価指標」について、何か質問、意見ありますでしょうか？ いくつか論点があったと思うが、平均的に数字が上がって行くという傾きで毎年評価をしていってどうかという逆質問もあったかと思うが、そういうことも含めて見てください。

私の方からちょっと補足であるが、一番最初の公共交通の利用者数と言うのは「幹線である鉄道・路線バスの年間利用者数」になっているが、JRさんは入っていない。なぜ入っていないかという、JRさんがあまりにも巨大だからということと、市外との交通が多いと言う事で、市内の幹線ということに限定して測っているという議論が昨年度ありました。逆に言うと、JRさんの利用者数が多いので、先程の事業者計画の最初の「JRの中で利便性の高い運行」をしていただくと、倉敷駅から茶屋町もそうですが、市内の公共交通にその流れで連続して来られる方が増えることになります。JRさんは入っていないのですが、影で非常に重要な役割を担っていただいているという理解で見てもらえればと思います。

左下の「年間利用者数」であるが、これを学生が卒論で出してきたとするなら作り変えろと指示するのですが、これ、すごく変化しているように見えるけど、こうは変化してない。普通は0をスタートにして書くのだが、そうでない場合は、波線で表示して見せるべきところである。微小の変化はあるという事です。コミタクも一度下がって上がっているということで、数字の変化自体はそれほど大きくないと言う事かと思う。

指標自体が万能ということではなく、あくまで参考値と言うことだと思いますが、それでも表に出るものですので、お気づきのことがあればご意見頂きたい。

議長： 特に意見ないようですが、私の方からいくつか気になることがある。指標は5年かけてみていくが、達成されなかったら、なぜ達成されなかったのかとか、逆に、今日の1番最初の議題のように、伸びていたら、なぜ伸びていたのかとかチェックをどのように組まれるのかということだけは、ここでちゃんと確認して置きたいなと思います。いかがでしょうか。

事務局： ご意見ありがとうございます。毎年6月ぐらいの時期のこの交通会議までに頂ける資料は整理をして、皆様方に毎年モニタリングをしていきたいと考えている。先生からご指摘頂いたとおり、増えた要因・減った要因というのは何があるのかというのは探して、皆様の前で毎年毎年確認をしたいと思って

いる。それから、最初の年に基準値と目標値を定めたわけでありませけれども、目標値は越せばいいというものではなくて、どんどん上がっていけばいいことばかりの仕様になっているので、その方向修正についても会議の中で計っていきたいと思っています。よろしくお願いします。

議長 : はい。ということで、毎年そのチェックがかかってきて、そのチェックの役割を皆様がしていただくという位置づけになっています。

ちなみに、そういう意味でいくと「都市に豊かさと活力を生み出す公共交通」のところは参考値になっていて、未達成になっているという言われ方をされてしまうのですが、何故ということ、来年度以降はもうちょっと真剣にお尋ねすることになります。そこは、目標の設定がそもそも課題だったのか、そうじゃない何か理由があるのか、現時点で何か考えられているのか。

事務局 : 今、街中を周遊する仕組みと言うのは、少しずつやってきている。未達成と書いてあるが、数字的には近くに寄ってきているなと思っており、来年度のモニタリングで挽回できるかなと思っている。それと他の資料になるが、幹線部分の利用者数が皆様方のご協力をおもちまして、微量ではありますが増えてきていると思っている。皆様に乗って頂けること、事業者様が営業努力をしていただいていることが、少しずつ実になっているのかなと思っていますので、数字も来年しっかり見ていきたいと思っております。

議長 : はい。いかがでしょうか。

あと、本当に隠れた指標というのは予算だと思う。公共交通にどれだけお金を割けるのか、かけているのかということ。昨年度、資料を出させてもらったのだが、日本の中核都市クラスというのは、全然公共交通にお金を使っていなくて、今、高松市において一般財源で頑張って1%、ヨーロッパのいい基準の都市では、大体10%使っていて、日本の中核都市の平均は、0.1%ないというような状況である。やはり肝は予算かなと思っている。予算が十分ないとすると、色々なことが出来ないため、予算をどう獲っていくかを、関係各位、国の方も是非よろしくお願いします。影の指標としてケアしていきたいなと思っています。

議長 : 他に何か質問、意見はありますか。

ご意見がないようですので、事業計画と評価指標を進めて頂いて、年度末のこの会議の時に、整理してお知らせしていただくという形で進めさせていただきます。よろしいでしょうか？

議長 : はい。ありがとうございます。次の議題に入りたいと思っております。

ウ 平成28年度決算について

事務局から説明(資料3)

議長 : 監査報告をお願いしたい。

委員 : 監査委員を代表いたしまして、監査報告をさせて頂く。平成28年度決算において5月15日監査を実施したが、出納帳簿等に関しましても適正に処理

されていまして報告させていただく。

議長 : 内容に関して意見・質問等あるか。

特にご意見なければ、平成28年度決算について表決をとりたい。

[採決]

賛成の委員の方は、挙手願います。

賛成多数により、承認することにします。

(5) その他

議長 : その他何かあるか？

(6) 閉会（事務局）

ありがとうございました。軽微な変更は会長に一任とさせていただき、次回報告させていただく。これもちまして、平成29年度第1回倉敷市地域公共交通会議を終了します。

次回は平成30年1月16日午前に予定しており、詳細については後日ご連絡いたします。

議事録の内容に相違ないことを確認し、ここに署名する

平成29年7月31日

倉敷市地域公共交通会議 会長 原 孝吏